



第26回 みどりの地球号in安行

5月5日、安行スポーツセンターで開催。苗木の無料配布や植木の模擬セリ市、ふれあい動物園などのイベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



第38回 看護専門学校戴帽式

5月10日、リリア音楽ホールで開催。看護師のシンボルであるナースキャップを与えられた第一看護学科38人は、キャンドルの灯の中ナイチンゲール誓詞を力強く朗唱し、新たな決意を胸に看護の道を歩み出しました。

KAWAGUCHI PUBLICITY



第27回 グリーンロード・ウオーキング

4月29日、戸塚安行駅から安行・新郷地区をまわり新井宿駅までの約12キロのコースで開催。423人の参加者はすがすがしい新緑の中を歩きながら、川口の魅力を再発見しました。

第32回 芝のふるさとまつり

5月11日、芝スポーツセンターで開催。バナナのたたき売りやステージのほか、芝地区の町会による子どもみこしなどが行われ、たくさんの親子連れでにぎわいました。



第8回 サッポロメモリアル 「リボンシティまつり」

5月17日、並木元町公園で
開催。華やかなステージや
模擬店が設けられ、多くの
来場者でにぎわいました。



スプリングフェア 2014

5月3日～6日、グリーンセ
ンターで開催。来場者は
百連こいのぼりの下で、ス
テージイベントや、春の草
花を観賞するなど、楽しい
ひとときを過ごしました。



COMMUNITY

マイシティ
かわぐち

MYCITY

ひと・歴史・かわぐち Vol. 17

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した
川口ゆかりの人物を紹介していきます。

江戸期儒学の集大成

儒学者 安井 息軒

今回は、江戸時代後期の儒学者で、私塾「三計塾」を開き、
明治期に活躍する人材を多く排出した安井息軒を紹介します。

安井息軒は、寛政11年（1799）、日向国清武郷（現・宮
崎県宮崎市）に生まれ、儒学者
であった父・滄洲の影響もあり、
幼い頃から学問を志しました。

儒学とは、中国古代の教えを、
孔子が体系化したもので、江戸
時代には、儒学の一派である朱
子学が幕府の官学として盛んに
学ばれていました。しかし、息
軒は他学派の優れた部分は柔軟
に取り入れるという独自の研究
姿勢を生涯貫きました。

江戸に出た息軒は、私塾「三
計塾」を開き、次世代を担う人
材を多く輩出し、文久2年（1
862）には幕府から昌平坂学
問所教授に任ぜられました。

「三計塾」の「三計」とは、「一
日の計は朝にあり」「二年の計
は春にあり」「一生の計は少壮
の時にあり」という三つの計
全て始まりを指しており、何事
を志すにしても、まず初めが肝
心であるという意味を込めて、
塾を開き人材の育成に努めたの
でした。

やがて、息軒は明治維新の混
乱を避け、明治元年（1868）
69歳の時、領家村（現・川口市
領家）に移り、およそ9カ月間



息軒舎(吉原さん宅)
ここで「北潜日抄」が記され、現在も市内に所蔵
されています。毎年、宮崎市の小学生が訪れます。
交互に「川口市小学生文化交流使節団」も宮崎
市の息軒ゆかりの地を訪れ、交流を深めています。
東領家2-12-15

参考文献「川口の文化財」1991、
川口市教育委員会